

2019年6月号 簿記論 つぶ問

1問目

【問題】

P社の連結財務諸表作成に関する、次の問に答えなさい。

(問) P社は、X1年3月31日にS社の発行する議決権付株式の80%を8,000円で購入してS社を子会社とした。そこで、以下の【資料】に基づいて、X1年3月期の連結貸借対照表の空欄を埋め、これを完成しなさい。なお、連結修正によって新たに生じる貸借対照表項目については独立の項目として表記し、損益計算書項目については利益剰余金に含めること。ただし、空欄はすべて埋まるとは限らない。

【資料】

(1) X1年3月期のP社およびS社の個別貸借対照表

貸借対照表

(単位：円)

資 産	P 社	S 社	負債・純資産	P 社	S 社
現 金	12,000	3,000	借 入 金	15,000	5,000
土 地	30,000	17,000	資 本 金	30,000	9,000
子会社株式	8,000	—	利 益 剰 余 金	5,000	6,000
合 計	50,000	20,000	合 計	50,000	20,000

(2) X1年3月31日時点におけるS社の資産および負債のうち、土地の時価は20,000円であった。借入金の時価は帳簿価額と一致していた。

【X1年3月期の連結貸借対照表】

連結貸借対照表

(単位：円)

資 産	金額	負債・純資産	金額
現 金	()	借 入 金	()
土 地	()	資 本 金	()
()	()	利 益 剰 余 金	()
()	()	()	()
合 計	()	合 計	()

【解答】

連結貸借対照表 (単位：円)

資 産	金額	負債・純資産	金額
現 金	(15,000)	借 入 金	(20,000)
土 地	(50,000)	資 本 金	(30,000)
() ()		利 益 剰 余 金	(11,400)
() ()		(非支配株主持分)	(3,600)
合計	(65,000)	合計	(65,000)

【解説】 (金額の単位：円)

連結財務諸表作成手続きから、資本連結について出題しました。①投資と資本の相殺消去と②非支配株主持分への振替という2種類の手続きをマスターしましょう。なお、解答の連結貸借対照表は、P社およびS社のB/Sを単純合算した上で、以下の修正仕訳を反映すれば作成できます。

・土地の時価評価

(借) 土 地	3,000	(貸) 評 価 差 額	3,000
---------	-------	-------------	-------

S社の土地の時価 20,000－簿価 17,000＝3,000

・資本連結

①投資と資本の相殺消去 (80%)

(借) 資 本 金	7,200	(貸) 子 会 社 株 式	8,000
利 益 剰 余 金	4,800	利 益 剰 余 金	6,400
評 価 差 額	2,400		

借方の金額は、各項目の総額×80%で計算します。評価差額を忘れないように注意しましょう。また、貸方の利益剰余金は負ののれん発生益です。連結B/Sの借方に空欄があるからといって、のれんが生じるわけではないという点も、解答の際に注意しなければならぬポイントです。

②非支配株主持分への振替 (20%)

(借) 資 本 金	1,800	(貸) 非 支 配 株 主 持 分	3,600
利 益 剰 余 金	1,200		
評 価 差 額	600		

借方の金額は、各項目の総額×20%で計算します。非支配株主持分に係るのれんは計上されません。